



横浜市立 瀬谷さくら小学校

学校運営協議会だより

平成24年12月20日
平成24年度・第2号

共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」
～みんなの力で守り育てよう、瀬谷さくら小学校、さくらの子～

ごあいさつ

会長 網代宗四郎



光陰矢の如しとも申しますが、早いもので、平成24年も残すところあとわずかとなりました。皆様には、充実した一年をお過ごしになられたものと推察いたします。

学校運営協議会も三年目を迎え、今まで以上に、児童のみなさんの健やかな成長と瀬谷さくら小学校の発展、さらには、確かな歴史を築かれるよう願って、様々な活動をやらせていただきました。これも偏に皆様の温かいご理解とご協力の賜と心から感謝申し上げます。

今年一番悲しい出来事といたしましては、学校運営協議会前委員の糀山金久様が、11月21日に突然ご逝去なされたことでございます。糀山金久様は、大変長い間ふるさとである瀬谷を、瀬谷区の人々を愛され、本当に数多くの活動をなさいました。

区民の皆様の大切な生命財産を守るために、消防団長として昼夜を問わずご尽力された功績は、どなたも認められるところであります。瀬谷さくら小学校開校と同時に、青パト用の自動車を寄贈していくだくとともに、自ら学援隊長として、児童のみなさんの登下校時の交通安全指導や防犯啓発活動に情熱を注がれました。

ここに、数多くの業績を残されご逝去なさいました、糀山金久様に心から感謝を申し上げますと共にご冥福をお祈り申し上げます。

新しい年、平成25年も、「共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」～ みんなの力で守り育てよう、瀬谷さくら小学校、さくらの子～を念頭に活動してまいりたいと思います。皆様の温かいご理解、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、来年が皆様にとりまして輝かしい年でありますよう祈念申し上げます。

瀬谷さくら小学校 学校運営協議会全体研修会 さくらの会開催

9月15日（土）、瀬谷さくら小学校学校運営協議会の全体研修会「さくらの会」が開催されました。

この会は、日頃より学校運営協議会の活動にご協力している地域や保護者の皆様との、相互理解と連帯感を高めあうことを目的として、昨年から全体研修会として始めたものです。今年から、より親しみやすい会を目指して、「さくらの会」と改称しました。16名の学校運営協議会委員のほかに、地域の皆様33名、保護者19名、教職員4名、児童10名、合計82名の皆様が出席してくださいました。



演奏するウクレレ遊友会のみなさん



挨拶運動を紹介するさくらプロジェクトの児童

学校運営協議会の活動、学校運営方針、PTA活動の説明に続いて、「おはようございます 朝のスタート元気よく」をスローガンにあいさつ運動を展開している“さくらプロジェクト”的児童による活動報告が元気よく行われました。

ほかにも、音楽授業に参加しているウクレレ遊友会や図書ボランティアの活動発表、盆踊りの先生、学援隊などが紹介されました。活動発表を通して、会の目的である「相互理解と連帯感を高める」ことができたのではないかと思います。

「子どもは、まちのみんなで育てる」 糀山金久さんを偲ぶ

瀬谷さくら小学校 校長 八嶋真理子

「今日の朝学校に来たら、子どもたちがおはようございますと元気な声でいさつをしてくれました。大きな声でいさつをしてくれて、おじさんはとてもうれしかったです。みなさん、どうもありがとうございます。今は、私たちが学援隊としてみなさんの登下校の見守りをしていますが、みなさんが大人になつたら、今度はみなさんが学援隊になって、このまちの子どもたちを守ってくださいね。お願いしますよ。」

勤労感謝の日を週末にひかえた11月19日（月）瀬谷さくら小学校の体育館で行われた「ありがとう朝会」で学援隊長の糀山金久さんは、全校児童に向かって笑顔でお話をされました。優しく温かいお話でした。子どもたちは、うなずきながら聞いていました。まさか、その後48時間も経たないうちにその笑顔に二度とお目にかかるなくなるとは思ってもみないことでした。

糀山金久さんは、常々「子どもたちは、まちのみんなで育てるものだ。」とおっしゃいました。そして、子どもたちのためにご自分ができることを惜しまずされる方でした。瀬谷さくら小学校の学校運営協議会委員を開校から務められ、瀬谷さくら小学校交流会会長として夏祭りを行い、学援隊の隊長として隊をまとめられました。朝晩、瀬谷さくら小学校の校区を廻る青バト用の自動車を寄贈してくださったのも糀山金久さんです。その車の車検代も、毎年全額提供してくださいました。正門前の「止まれ」の標示も学校が困っていると知ると、ご自身で工事の方に依頼して直してくださったり、スクールゾーンの整備を警察署に掛け合いに行ってくださったりと、語り尽くせないほど瀬谷さくら小学校の子どもたちは糀山金久さんのお世話になりました。

糀山金久さんにおかれましては、子どもたちの健やかな成長と安全を守るために、学校や地域に多大なご尽力をいただきました。学校を代表して心から感謝申し上げると共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

「糀山金久氏の死を悼む」

副会長 馬場勝己

瀬谷さくら小学校の誕生とともに、瀬谷さくら小学校区交流会や学援隊の活動に、多大なご尽力をくださった糀山金久様が、去る11月21日に急逝されました。前夕日の「ありがとう朝会」には、いつもと変わらぬ姿で、全校児童の前でいさつをされており、突然の悲報に誰もが耳を疑ったことと思います。

私と糀山さんの出会いは、平成20年の下瀬谷小学校と日向山小学校の再編統合の検討委員会の席上です。歯に衣を着せぬ発言が印象的でした。

いつも、青少年健全育成や教育環境の向上に力を注がれていたことに敬意と尊敬の念を表します。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。



第3回学習発表会（低学年の部）



1年生のフィナーレ



2年生のフィナーレ

12月8日（土）、「みんなが主役、笑顔のさくらを咲かせよう」をスローガンに、瀬谷さくら小学校体育館で全校児童の学習発表会が開かれました。「単なる発表会のための出し物ではなく、これまで学んできたことを発表する」という校長先生の言葉通り、素晴らしい発表会になりました。

1年生は「こころひとつに、わたしたちのくじらぐも」で、皆で心を一つにして、クジラぐもに飛び乗ることに挑戦する様子を演じました。

2年生は小さな魚たちが、みんなで集まって大きな魚のふりをして生き抜く「ともだちと力を合わせてスイミー」を演じました。



5齢幼虫を掲げる3年生

3年生はクイズ形式で、動物の変態や植物が加工されて人間の口に入るまでの様子「いきいき生き物発表会」を行いました。

林 横浜市長とティーミーティング

瀬谷さくら小学校学校運営協議会の代表と林横浜市長とのティーミーティングが、12月11日（火）、横浜市庁舎の市長執務室で開催されました。

ティーミーティングは、「市長と市民が、横浜の市政に関するテーマについて意見交換することにより、市民に市政をより身近に感じてもらうとともに、市長が市政に関する様々な市民の声を直接聴き、市政運営の参考にするため」に行われているもので、昨年申し込み、抽選の結果、実現したものです。今回は、学援隊と学習支援がテーマで、それぞれの部会員と学区内の5つの地区の代表10名が選ばれて参加しました。



網代会長より、6つの活動部会を設置した趣旨を中心に、学校運営協議会の活動について説明した後、馬場副会長から学援隊について、飯島副会長から学習支援について説明し、参加者がそれぞれの現状と問題点や意見を述べました。要点は、

- ①学援隊も学習支援ボランティアも老齢化が進んでおり、若い人たちへの参加要請を含めて、その募集に苦労していること
- ②子どもたちは交通ルールを守っているのに、子どもたちの目の前でルールを守らない大人があり、道徳も含めて大人たちの再教育が必要なこと
- ③青バトの維持費を捻出するためアルミ缶回収を実施しているが、自動車税免除等の支援がほしいこと。
- ④通学路を利用するとかなり遠回りになるため、通学路に指定していない道路を通学している子どもたちがいる。川と林にはさまれ、雨が降るとぬかるみができる暗い道路なので、舗装や街灯の設置をしてほしいこと

これらに対して林市長は、横浜市の財政がとても苦しいことを説明され、④に関しては、優先順位があるのですぐにできるかどうかわからないが、前向きに検討するとのお話をいただきました。その他の問題については、よく理解され共感されましたが、大きなテーマであるため今後の課題になりました。当面は自分たちで工夫していく必要があります。

市長には、選挙も重なって大変ご多用の中、時間を割いていただきありがとうございました。最初は緊張しましたが、途中、冗談や笑いも出て、ティーミーティングの趣旨のとおり、大変有意義なミーティングだったと思います。

学習発表会（高学年の部）

4年生は「星と月を見上げよう」と題して、オリオン座や北極星、金環日食などの様子を発表しました。

5年生は「朗読げき・大造じいさんとガン」で、群れのみんなを守るガンのリーダーと罠にかかった仲間をかばうガンに感動した、大造じいさんの人情の機微を見事に演じきました。

6年生は「表現運動・歴史～受け継がれる思い」。古い人類の大人たちには、標題と踊りを結びつけるのはちょっと難しかったのですが、ミュージカルを思わせる迫力ある演技に感動しました。指導者の先生は、どうやって振付をされたのか、大変見事な出来栄えでした。

各学年とも、みんなが協力して一つのことを成し遂げることの大切さを学んだ学習発表会でした。



金環日食を説明する4年生



罠にかかった仲間を気遣うガン



6年生の表現運動

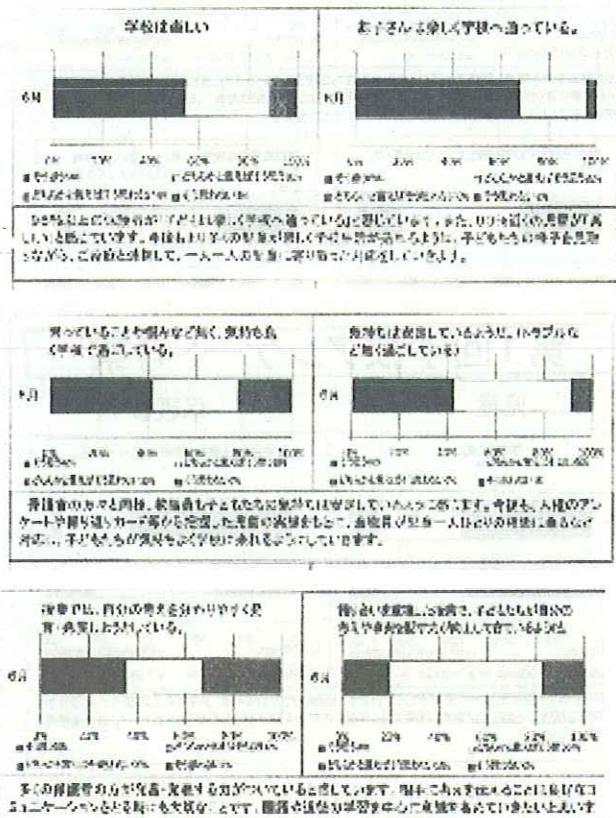
前期学校評価

第3回学校運営協議会に、平成24年度第1回学校アンケートの結果と前期の職員評価が報告されました。それに対する学校運営協議会委員のコメント（C）と、その場で回答された内容（A）をまとめました。

第1回学校アンケート考察

児童

保護者



平成24年度 湖谷さくら小学校職員前期学校評価集計結果				
	A	B	C	D
1 教育課程・学習指導計画 <教育課程部>	1	3	5	0
① 機動力向上目標に従事する教員が充実し、児童の達成度が高まっている。	1	1	1	0
② 教職員は、教科内容の理解を高め、実践活動の学習において高い熱意を示している。	1	1	1	0
③ 機動力・実践活動力の目標が児童に届く対応がされている。	2	11	1	0
④ 教育課程の構造を分析し、学年・学年別の学年課題を把握し、必要な力が各学年で適切に定められている。	2	11	1	0
⑤ 各教科の評価基準が明確で、達成度の記述が的確である。	1	11	1	0
△ 機動力向上目標した研修をもつていて良い。				
△ 教育補充学習が、児童の個々の学年段階別に効果があるのか、児童の実情について個別に先生が対応している。				
△ 先生の立会なしでもやっていけるので、児童が立会なしでもできるといよいよ。				
△ 週報を年長児が読む、読み物文庫等の児童リカバリュームを活用して児童が立会なしでもできるといよいよ。				
△ 补充学習で上、次回月の方の協力で、個々に代わりでやっている。				
△ 补充学習が今までを振り返り、主徴等を入れないアシストと聞いていた。				
△ お子さんとお話しする時間、お子さんとお手本で準備する方に重きを置く。お				

C1. 「学校は楽しいか？」という問いに、楽しくないという児童が10%もいるのは問題だ。「困っていることや悩みなどなく、気持ちよく学校で過ごしているか？」の問いで、そうではない子が20%いるのも関連しているのではないか。

A1. アンケートは記名式で、当該児童を把握しているので、教職員全員で対応していく。

C2. 「授業では、自分の考えを分かりやすく発言・発表しようとしているか？」の問いに、35%がノーと答えている。先生は子どもたちの発言・発表に対して、褒めたり、悪いところは直すように、できるだけコメントするよう心掛けほしい。父兄も、子どもたちの話の腰を折らないで、話を最後まで聞くようにしてほしい。

C3. 算数補充学習は基礎学力の定着に効果があがっているか？

A3. 効果が上がっていると思うので、もっと時間を取りたいが取れない

C4. 立ち会う先生の数を減らしてもよいのではないか？

C5. 先生の立会なしでもやっていけるのではないか？

※C4、C5に関しては、問題が発生した時の対応も含めて、今後、検討していくことになりました。

※このほか補充学習について次のような提案があり、検討することになりました。

- ・登校時に、地域の方々による補充学習の場を設ける（九九など）。
- ・サマースクールや土曜スクールのような場で教育支援の方々が補充学習を行う。

前期学校評価

3 児童・生徒指導 <指導部>		A	B	C	D
J 1 改修運動を奨励し、それで始めるよい精神のできる児童を育てようとしているか?		3	1	3	1
J 2 現在一人ひとりを大切にし、児童・生徒の想いに耳を傾けるようとしているか?		3	2	3	0
J 3 不登校や問題行動の児を見逃さないよう、各級から相談窓口を充実整備・情報交換が整頓的に行なっているか?		3	1	2	0
評議会で各教科別会員会開催あり、子どもたちの意見交換・意見抒情を認めたことあります。安心感。		3	2	0	
④教学生育成会をはじめ、思いやりの心を育てるよう取り組んでいるか。		7	10	1	2
⑤全職員が子どもたちの成長を喜んで指導に取り組んでいるか。		4	10	1	3
◎ A: 月次会議をしており会員会も開催してもらっていない。 B: 月次会議をしており、月次会議で決する実績の発表会があります。 C: 月一月次会議は開催され、月次会議での意見交換を行なっています。 D: 「先生たる基礎をもつての先生たち」の内で、意見交換とも連絡を取らせて」とがまいります。月次会議で決してもらっています。新規、内規は大変良い、但し、子どもとも言っています。 E: 文部省が主導するアーティストの会議機関で会議は十回、添削会等の会議活動など、アーティスト会議機関で会議は十回とあります。評議会を開催してほしい。					
◎ ⑥ 子ども達が日常に会話を楽しむことで、おしゃべりの機会も増えて、C: 楽しくおしゃべりの機会を増やすには、面倒でも何でもいいと思われる、会話					

8 教職員の研究・研修 <研究部>		A	B	C	D
J 25 教職員の研究・研修を通じて、教員の作成力向上・授業の改善に貢献しているか。		11	3	1	3
J 26 各学年で授業力向上・改善に向けた取り組み・講議ができるか、教員間の連携があるか。		0	11	1	1
J 27 自己研修会で立てた教科別課題の具体的目標に向けた実績ができるか、C: 教育目標達成度があるか。		7	11	1	1
◎ A: 教科別会議で実施する会議をもつて、教員間の意見交換を行なってもらいました。新規、内規は大変良い、但し、子どもとも言っています。 B: 教科別会議が1回開かれています。各月1回でもいい、子供分、添削会で行なう事など、月次会議で決してもらっています。新規、内規は大変良い、但し、子どもとも言っています。 C: 教科別会議が1回開かれています。各月1回でもいい、子供分、添削会で行なう事など、月次会議で決してもらっています。新規、内規は大変良い、但し、子どもとも言っています。					

9 保護者・地域住民との連携 <指導部>		A	B	C	D
J 28 学校運営協議会を通して、地域と連携し地域社会を強化し、地域教育会等の学校運営会議はございませんか?		12	4	6	2
J 29 学習支援ボランティア団体の充実に向けて取り組みが進んでいますか。		15	3	6	0
J 30 地域人材・地域資源の整理や、多くの地域人材を生かし、学習や寄合会等を実施することを行なっていますか。		6	9	0	0
J 31 地域の方へホームページを通して、様々な情報を発信がされているか。		12	6	3	1
J 32 その他地域の人々との連携を実現し、地域社会を活性化させているか。		4	14	3	0
◎ A: 年は課題協議会と学校との情報を交換したりしているのか? 管理部、教務と名ふれに子どもの個性は尊重していない。希望がありたい。					
◎ B: 地域の方へホームページを活用して、地域社会を活性化させたいとあります。今後は地域の方々との連携を図るために、年間行事の大・小計画を立てる。希望があることをうなづいています。					

【全体を通じて】

放課後何も予定がない日は月に一回ぐらいしかないという先生方。重点実施項目を絞って活動してもらうことと、学校運営協議会や学習ボランティアなどが、良かれと思って提案していることが、先生方の足を引っ張らないよう、互いによく話し合って物事を進める事の必要性を感じました。

C6. 職員間で共通理解、情報共有ができているか?

A6. 全員の情報交換の場として職員会議を利用しているが十分な時間が取れない。学年研※などで対応している。

※同じ学年を受け持っている先生同士の研究、研修の場

C7. 先生方のスキルアップは大切なことなので、重点研※や学年研は続けてほしい。

※毎年テーマ教科を決めて職員全員で取組む研修

C8. 全員がAまたはB評価で、全体としてはとてもうまくいっているようだが。

A8. 学校運営協議会との関係が薄いとの先生方の指摘があった。関わる先生が限られていたので、今年からローテーションをして、できる限り多くの先生に関わってもらうように配慮した。

C9. 夏祭りで多くの先生が子どもたちと触れ合っているのはいいことだ。さくらの会やその他の子どもを対象にした地域のイベントにもできるだけ顔を出してほしい。学校の中と違う顔を見られることは、先生方にとって何か得るところがあるのではないか。

おさかな学習会

瀬谷さくら小学校の楽しく分かりやすい授業づくりの一環として、9月20日(木)、「おさかな学習会」が行われました。今回は、社団法人大日本水産会*のご協力により、おさかなゼミ、タッチプール、移動水族館を通して、日本の水産業、漁業、魚の栄養、食のバランス、健康などについて学びました。

* 水産業の振興をはかり、経済的、文化的発展を期することを目的として設立された水産業の総合団体

開会式の後、事前に募集したおさかなの絵(1年生~3年生)と五七五標語(4年生~6年生)の優秀作品の表彰が行われました。おさかなの絵は写真のように色鮮やかで、五七五標語とともに、なかなかの出来栄えでした。金賞を受賞した標語をご紹介します。

- ・海の中 お魚たちも オリンピック (4年)
- ・右ひらめ 左はカレイ ばくどっち? (5年)
- ・暑い夏 スタミナつける うなぎの日 (6年)



金賞(右)と銀賞(左)受賞作品



金賞、銀賞のメダルをかけてもらった子どもたち



おさかなゼミの講師(大日本水産会)

おさかなゼミでは、1~4年生は「回転寿司ネタから知る魚の全身姿、旬、生息地、漁法、漁具」、5、6年生は「日本の海、漁業、水産業」について学びました。

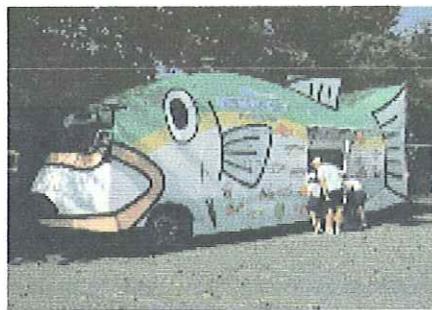
タッチプールや移動水族館では、ひらめやウナギ、イセエビなど、生きた魚をじかに見て、直接手で触れて親しました。さすがに触って肌がザラザラしていることを感じた子、タコの吸盤に吸い付かれて驚いた子、貴重な体験だったと思います。



タッチプールで魚に触れる



移動水族館



移動水族館

また、午後からは、保護者や地域の方々を対象にした、プロのシェフによる「簡単でおいしい魚の調理法」の指導が行われ、大変好評でした。

ありがとう朝会

11月19日(月)、学援隊や学習支援ボランティアに感謝の気持ちを示そうと、体育館に全校児童が集まり、「ありがとう朝会」が開かれました。

今回は、2年生がお礼の言葉を言い、参加した約30名のボランティアたちは、1年生が自分たちで作ったメダルを首にかけてもらいました。いつも、子どもたちから元気をもらって、

「こちらこそ、ありがとう!」



メダルをかけてもらう学援隊

瀬谷さくら小学校防災拠点 秋季防災訓練に参加

9月1日（土）、瀬谷さくら小学校地域防災拠点（運営委員長 網代宗四郎氏）の秋季防災訓練が開催され、瀬谷さくら小学校からも全校児童及び教職員が参加しました。訓練は、マグニチュード7.8の巨大地震が発生したとの想定で、教室から校庭へ避難し、地域の人たちと合流しました。



地域の人たちとともに公邸へ避難した子どもたち



開会宣言する仙田さん



水消火器の放水訓練



煙体験

校庭での訓練は、6年生の仙田真子さんの開会宣言で始まり、煙体験、水消火器の放水、簡易担架の作成・搬送、簡易トイレの組み立て、バケツリレーなどの訓練が行われました。

1～5年生は煙体験を行い、火災が発生した時は、ハンカチやタオルで鼻や口を覆い、姿勢を低くして非難することを学びました。

6年生は、消防隊の支援を受けながら、消火器の放水を体験しました。家庭に消火器があっても、放水する機会は稀なので、貴重な体験になったと思います。

瀬谷さくら小学校運動会

10月27日（土）、第3回瀬谷さくら小学校運動会が開催されました。秋空の下、グラウンドは一日中、子どもたちと保護者、地域の皆さんの大歓声が響き渡りました。

運動会プロジェクト委員、紅白応援団長、紅白対抗リレーの選手、運動会新聞の担当児童など、みんながそれぞれの役割を分担し、立派にその役割を成就しました。彼らの事後感想を聞いたところ、みんなから達成感でいっぱいの言葉が返ってきました。この体験は、今後の学校生活やその後の社会人になってからも、きっと役立つことでしょう。



笑顔はじける応援席



紅勝て 白勝て 応援合戦



盛り上がった代表リレー

さくらの子応援隊発足

教育支援部会の名称を「さくらの子応援隊」に改称して、皆さんにより親しまれ、より実効ある活動を目指すことになりました。

横浜市教育委員会の「学校支援活動事業」に参画するため、10月9日（火）、その取り組みの基本方針を話し合いました。参加者は、今年度の「学校・地域コーディネーター養成講座」を受講している野口さん、飯島さん、與倉さんと、教育支援ボランティアの原田さん、八嶋校長、松田副校長と来年度受講予定の西村です。



野口さん



飯島さん



與倉さん

さくらの子応援隊の活動は学校運営協議会の教育支援部会が中心になり、

- ①学校支援ボランティア募集に関わる呼びかけ、およびボランティアパンフレットの作成
- ②教育支援、地域交流、学援隊など学校支援活動の実施
- ③地域、保護者などへの普及啓発、広報活動などを行います。

部会の運営は学校運営委員会委員で構成する運営委員会が行うこととし、代表に飯島下瀬谷団地自治会長、副代表に今井さん、西村、会計に與倉さん、松田副校長、会計監査に原田さん、境先生、活動の要となる事務局長に野口さんが、それぞれ選ばれ、これらは11月9日（金）の学校運営協議会で承認されました。

【編集後記】

国際理数学力調査で、日本的小学4年生の学力が向上し、それは「脱ゆとり」教育の成果だそうです。一面だけを見て成否を判断することはできませんが、学力やスポーツ力の向上には、競争心や闘争心が大切なことは言うまでもありません。

一方、学習発表会で子どもたちが演じたように、他人を思いやり、みんなで協力して物事を成し遂げる心は、それ以上に大切なことだと思います。子どもたちは、一見相反するこれらのことと身に着ける能力をもっていると信じて、これからも活動を続けたいと思います。

教育委員会との情報交換

学校・地域コーディネーター養成講座の一環として、教育委員会と講座受講者の情報交換会が行われました。

教育委員会事務局から、総務部生涯学習文化財課生涯学習係の小川係長と渡辺係員、瀬谷区から学校連携担当の高木さん、講座を委託されているNPO法人横浜市民アクトの藤田さん、受講者として、野口さん、與倉さん、飯島さん、オブザーバーとして八嶋校長、西村が出席。

昨年度、文部科学省へ提出した学校運営協議会の活動報告書をもとに、瀬谷さくら小学校区交流会による「さくら小地域夏祭り」や、学援隊による「登下校時の見守り活動」など、子どもたちの健全育成と安全を守るために、先人が始めた活動が、下瀬谷、日向山両校が統合した後も、脈々と引き継がれていることを説明しました。

また、教育支援ボランティアとして32名が登録され、算数補充学習やクラブ活動の支援活動を行っているが、手品や裁縫をはじめ活動に必要な道具類の調達をすべてボランティアに頼っていることや、学校区を巡回パトロールしている青バトンの寄贈から維持経費まで個人の好意に支えられていることも説明し、支援を要請しました。

更に、学校に作っていただいた地域交流室が、地域交流活動にとても役に立っているとの話から、横浜市としても設置校を順次増やしていく計画であるとの説明がありました。

【訃報】

下瀬谷小学校時代から、下瀬谷自治会長として小学校区交流会長などを歴任され、瀬谷さくら小学校になってからも、学校運営協議会委員や学援隊長などを務められ、子どもたちの健やかな成長と安全を守るために、学校と地域に多大な貢献をされた糀山金久さんが、11月21日、逝去されました。享年79才。生前のご指導、ご協力に感謝申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。



学校運営協議会だより
平成24年度・第2号

平成24年12月20日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会
発行責任者
会長 綱代宗四郎
編集
広報・学校評価部会